| 学校番号 | 1101 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究甲 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 精選「古典探究」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 精選古典探究［古探７０８］学習ノート（大修館書店）<br>さくらさく古文単語（浜島書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典探究甲の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## 2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 古文に親しむ<br>［教材］<br>十訓抄　大江山いくのの道 | a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにできる。<br>b[読]:文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。<br>c:登場人物の心情を読み取ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 『伊勢物語』の内容について、登場人物とあらすじを把握する。<br>和歌の修辞を理解する。<br>［教材］<br>伊勢物語　初冠<br>万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 | a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深める。<br>b[読]:必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価する。<br>c:文章の内容を展開に即して的確に理解しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 各故事成語がどのような歴史的背景から生まれたかを理解する。<br>［教材］<br>画竜点睛　　塞翁馬 | a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。<br>b[読]:文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。<br>c:文章の内容を展開に即して的確に理解しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| 後期 | 人間の考え方や人物どうしのかかわりについて理解を深める。<br>［教材］<br>源氏物語　若紫との出会い | a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深める。<br>b[読]:古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりする。<br>c:登場人物の心情を読み取ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 文章の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。<br>［教材］<br>平家物語　能登殿最期 | a:古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深める。<br>b[読]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察する。<br>c:様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間